



岡 津



「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 11月号
令和4年10月31日
横浜市立岡津小学校
校長 下畝 直人
TEL 811-4104
FAX 812-4586

本と出会おう

副校長 松谷 隆広

日中は涼しく、朝夕は肌寒いと感じるようになりました。いよいよ秋本番です。先日はご多用中にもかかわらず、令和4年度岡津っ子スポーツDAYをご参観いただき、ありがとうございます。前日の新(シン)・岡津フェスティバルからの二日間、子どもたちは自分たちの力を精一杯出し切りました。まさに「スポーツの秋」にふさわしい二日間でした。

さて、秋と言えば「スポーツの秋」のように「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」等、さまざまな言い方があります。それは、この季節が夏の暑さ、冬の寒さのような過ごしにくさがなく、何かに集中して取り組むのに適した季節だからでしょう。

今回は「読書の秋」についてお話をします。「読書の秋」の由来は 中国・唐代の文人である韓愈（かんゆ）が残した詩の中の「燈火（とうか）親しむべし」という一節にあると言われています。「秋の夜は涼しさが、気持ち良く、あかりで読書をするには最適の環境である。」という意味だそうで、現代にも通じる教えです。

一冊の本を手取る意味とは何でしょうか。良質の書籍には一つの大きな世界観があり、一冊読み終えた時に読み手の心にそれを残してくれます。読書量が増えるにつれ、それが心の中に蓄積され、考えの土台となり、現実の世界では経験できないことを想像できるのではないのでしょうか。

横浜市は11月を「市民の読書活動推進月間」、11月4日（金）を「はまっ子読書の日」としています。本校では11月16日（水）～11月25日（金）を読書週間に定めています。今年度も図書委員会の児童が読書クイズやスタンプビンゴの活動を企画しています。また、昨年度まで実施することができなかった朝の読み聞かせを「おはなしかせ隊」の皆様にご協力いただいて今年度より再開しています。「おはなしかせ隊」の皆さんに読み聞かせをしていただいたお話は、やはり児童の心にとっても残っていて、図書室利用の際に話題にする児童が多いようです。

お子さんはご家庭で本を読んでいるでしょうか。読書好きな子どもを育てていくためには、学校だけでは限界がありご家庭の協力が不可欠です。読書は環境作りからです。意図的に大人側が仕掛けていくことも大切となります。一緒に読み聞かせをしたり、大人が読書してモデルを示したり、休みの日に図書館に連れて行ったりしながら、本との出会いを演出し本に親しむことができる機会を作ってみてはいかがでしょうか。

秋の夜長にテレビや YouTube を消して、家族みんなで「読書タイム」を楽しんでみてはいかがでしょうか。「読書の秋」を機会に、たくさんの本と出会える秋になってほしいものです。ともに読書好きな子どもを育てていきましょう。